

# 復興に駆ける！

第 5 号  
平成25年6月18日発行  
岩手県立生涯学習推進  
センター

「社会教育指導員等研修講座」での事例発表より

## 盛岡市西部公民館

主幹兼館長補佐 佐藤 郁夫 さん



事例発表していただいた、佐藤郁夫さん

西部公民館は、盛岡市の北西部に位置し、北上川西側の地域における生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の拠点施設として1994年5月に開館しました。特徴ある施設を完備し、健康の維持増進やパソコン教室ほか各種講座を開催し、平成24年度は年間約70講座延べ23,083名の市民が参加しました。

東日本大震災では、「被災した方々や地域に対して西部公民館として何かできないか」という気持ちから被災地支援・復興支援の取組を始めました。主に、沿岸被災地にサークル団体の構成員を派遣したり、市内に避難している方々を講座等に招待したりするなどの支援活動を行っています。震災後からの2年余りで、その回数は約21事業になり多くの方が参加しました。

主な事業を紹介すると、「東日本大震災の記憶と復興展」では、西部写真クラブのメンバーが中心となり、震災前の自然や町並みなどの風景と大津波によって変わってしまった風景、そして復興の歩みを比較し伝えるようにしました。「被災地は今」では、NPO法人吉里吉里国の深澤光さんや西部公民館職員八木光則さんが、被災地域がいまどのようなになっているのか、その経験を市民に語りました。「復興支援チャリティーコンサート」「復興支援チャリティーリサイタル」では、被災者の方々を招待して参加者との交流を行いました。特に、「復興支援チャリティーリサイタル」では、陸前高田市出身で、実家が被災されたウィーン在住の菅野祥子さんが、西部公民館活動サークルの指導者の伊藤素直さんのピアノ伴奏でモーツァルトの歌曲「クローエに」などを熱唱し、とても好評を得ました。他にも、使用済み・賞味期限切れてんぷら油を回収しバイオ燃料として活用したり、「楽しい布ぞうり作り講座」「簡単そば打ち体験講座」では、盛岡市内に避難されている方々を招待し、歓談しながら一緒に講座を体験し、心の交流やお互いの輪を広げたりすることができました。「震災応援メッセージ展」「震災ボランティア活動報告会」「震災ボランティア活動写真展」では、復旧・復興にかかわる支援活動を行っている皆さんから、ボランティア活動の様子や発表や、記録写真の提供をしていただき、市民とボランティアがつながるようにしました。

これらはほんの一例にすぎませんが、そのどれもが被災した方々の心の支えになりたいという、行動力を感じさせます。参加した方々からは、「体験したこと感じたことが被災地への関心を高めた」「テレビや新聞で見ただけでは、遠い存在であり他人事のように感じていたが、立ち上がらなければならないと感じた」などの声が聞かれたそうです。

これからも被災地への関心を高め、支援の輪を広げるため、「その気になれば、まだまだ、できることはたくさんある。復興に向けた活動をこれからも続けていきたい」と、佐藤郁夫さんは語っていました。

### 連絡先

☎019-643-2288  
盛岡市南青山町6-1